

館長就任挨拶

司法試験と箱根駅伝と、
そして図書館



メアリ・ウルストンクラフト (1759-1797) 38歳当時 (オーピー筆)

(William Godwin. *Memoirs of the Author of a Vindication of the Rights of Woman*, London, J. Johnson, 1798 より転載)

CONTENTS

- 館 長 就 任 挨 拶 「司法試験と箱根駅伝と、そして図書館」 図書館長 見市雅俊
- LIBRARY NAVIGATOR 行政情報データベース「JAMP」
- コ レ ク シ ョ ン 紹 介 女性解放運動の先駆者
メアリ・ウルストンクラフトの生誕250年を祝して
- 新 収 資 料 紹 介 中央大学教職員著作目録・資料目録 (2008.9～2008.12収集分)
- I N F O R M A T I O N 新館長就任について、4月企画展示について 他

図書館長就任挨拶

司法試験と箱根駅伝と、そして図書館

図書館長 見市 雅俊(文学部教授)



このたび、図らずも図書館長という大役を仰せつかりました。今回、わたしが選ばれた最大の理由は、図書館を徘徊する時間が中大の専任教員のなかでは、おそらく最も長い人間のひとりだったからだとおもいます。たしかに、図書館や本屋さんをうつづくのが大好きです。学生時代からそうでした。アルバイト代もそのあらかたは書物の購入に消えてしまい、デートも割り勘でした。もてなかったわけです。

ですから、今回、図書館長に推荐されたことは、率直に申して、光栄であり、たいへん嬉しいことでした。とはいえ、お引き受けするに当たってたいへん躊躇したことも確かです。逗留時間が長いからといって、それだけで図書館長職が立派に務まるわけではありません。くわえて、昨今の図書館を取り巻く環境をおもえば、とんでもない戦争の渦中に身をさらすことになるのが最初からわかっているからです。もちろん、「紙媒体」と「電子媒体」とのデスマッチのことです。

わたしの専門は歴史学です。どうしても世の中の流れというものに敏感にならざるをえません。図書館についていえば、紙媒体から電子媒体へという時代の風潮をいやでも意識します。近代の黎明期に印刷革命がおこり、手書きから活字への大転換がおこって、いっきに書物の量が増え、そのことが近代化を強力におし進めることになったことは誰でも知っているとおります。

わたしたちも、それに匹敵するような大きな変化の時代を生きていることは間違いありません。

ならば、図書館も紙媒体から電子媒体への転換をしゃにむに押し進めるべきなのか。実際、紙媒体の牙城としての図書館は早晚、不要になるのだという極論が、ある国立大学の図書館長によって堂々と唱えられ、しかもその議論が経費節減の要請とも相俟って、もてはやされる事態になっています。

しかしながら、ここで強調しておきたいことは、少なくとも中央大学のような伝統のある大学の図書

館においては、180度の方向転換はそう簡単にはできないし、またすべきでもない、ということ

です。ゼロの状態から図書館を構築する新興大学であれば、電子媒体を中心にすえた戦略をたてることは十分に可能でしょう。

しかし、本学には百年をゆうに超える歴史があり、当然のことですが、それだけ蔵書数も膨大な数にのぼっています。

とくに、「英吉利法律学校」として誕生したという歴史的経緯もあってでしょうが、イギリス関係の蔵書については、日本ではトップクラスに入りますし、イギリス本国の中規模以下の大学に比べてもおそらく遜色はなく、それどころか使い勝手の点ではむしろまさっているかもしれません。本学の図書館をもっともよく使いこなしている英文学者の悪友によると、なまじ彼の国に留学するよりも本学に留学した方がよほど仕事もできるとのこと。

他の領域についても、また学生向けの基本的な図書についても、感心するほどよく本が揃っています。「図書館」という名前そのものもふくめて、そのような老舗の暖簾をわたしは守りたい。そう、司法試験と箱根駅伝と、そして図書館なのです。

今の時代、電子媒体を活用するのは当たり前のことです。かくいうわたしも講義のレジュメ作りには、ウィキペディアをはじめとするウェブ情報をおおいに利用しています(もちろん、出典を明記して)。そのうえで、わたしは、分厚く、しかも内容のつまった書物を読み通すことができる知的な耐久力の有無こそ、学生のキャリアをこれまで以上に大きく左右するだろうとみています。

時代のトレンドなるものに対して半歩あとからじっくり考えながら歩む。それが歴史からわたしが学んだ智慧なのです。

Library Navigator

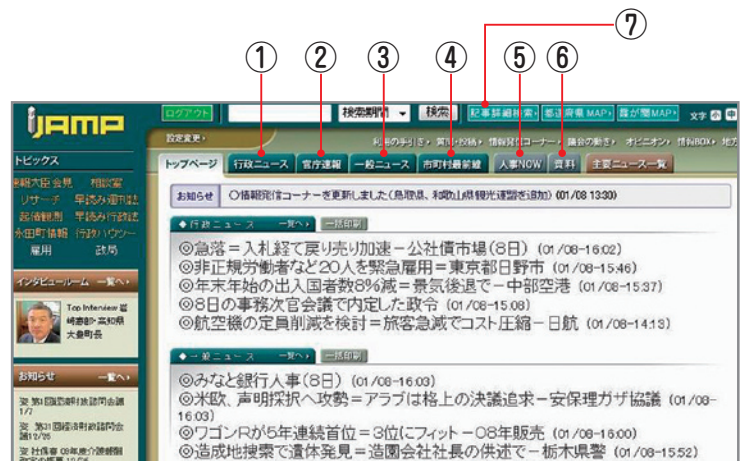
—iJAMP—

1. iJAMP とは

時事通信社が提供する行政情報データベースです。1996年以降の中央省庁・地方自治体の政策動向や、行政・一般ニュースを検索し閲覧できます。キャンパス内の学内LANに接続しているPCから利用可能です。

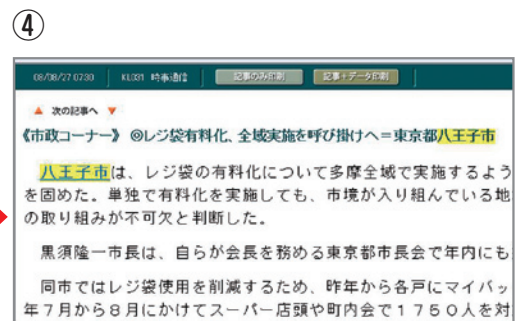
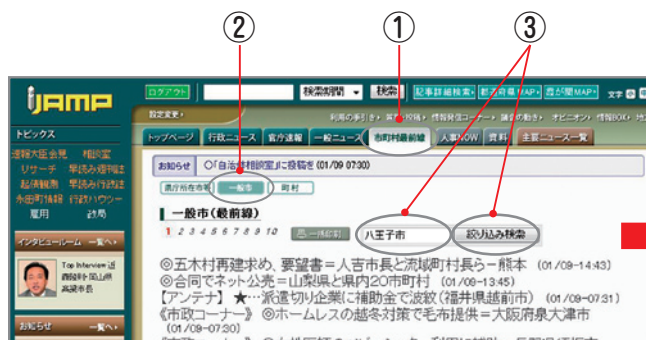
2. 主なコンテンツ

- ①行政ニュース：中央省庁や地方自治体の動向など最新の行政関連ニュースを配信。
- ②官庁速報：昭和27年の創刊以来、中央省庁や地方自治体関係者に購読されている同タイトルのオンライン版。
- ③一般ニュース：政治、経済、国際、社会、スポーツなど行政以外のジャンルのニュース。
- ④市町村最前線：市町村関係の行政ニュース。
- ⑤人事NOW：国会議員、主要省庁の課長以上、地方自治体の幹部職員のプロフィールを収録。
- ⑥資料：中央省庁の審議会答申、調査報告書、重要法案、通知、自治体の注目される条例案などの発表資料をPDFファイルまたはExcelファイルで記者発表と同時に提供。
- ⑦記事詳細検索：1996年以降の「官庁速報」「行政ニュース」「一般ニュース」を収録。



3. 検索例：“八王子市”に関する記事を探したい。

- ①“市町村最前線”をクリック。
- ②“一般市”をクリック。
- ③検索窓に“八王子市”と入力し、“絞り込み検索”をクリック。
- ④検索結果の中から読みたい記事をクリックすると記事の本文が表示されます。



(記事本文例)

メアリ・ウルストンクラフト(1759-97)(表紙)の名が思想史に誇り高く記録されるのは、彼女が書いた一束の恋愛書簡集によるのである。彼女はその時、34歳であった。

幼い頃から父親の暴力に泣き、しかも4人の弟妹達の世話を一手に引き受け、女性であることの社会的不平等を、身をもって体験しながら、独力で生き抜いてきた苦勞の女性であった。

メアリは、ヨーロッパ女性解放思想の画期的著作『女性の権利の擁護』(1792)(写真左下)を発表して、女性作家としての名声を、英国と大陸で、すでに広く謳われていた女性であった。そしてスイスの亡命画家ヘンリ・ヒュースリ(1741-1825)との恋を、ロンドンで断ち切ってきた情熱と美貌の女性でもあった。

フランス革命が恐怖政治に移行するころ、メアリはフランス革命の実態調査を志して、フランスに渡ったのである。そして運命の人ギルバート・イムリ(1755-1838)に出会い、二人の理想主義者は急速に恋に陥ったのである。彼らは、理性に基づく愛を神聖視し、因習的な結婚制度を罪惡視していた。男は、北欧を舞台に走りまわる材木商人で

あったので、二人は当然別居生活の形をとった。

二人は、愛の書簡を交換しあって、幸福いっぱいであったが、やがて男は多忙を理由に離れていった。メアリは男に女の影を直観した。しかし1794年1月、夫との同居生活を回復して、彼女は5月に女子ファニーを出産した。

しかし、やがて男は別の女の許に去った。メアリの必死の懇請にもかかわらず帰らなかった。情に訴え理性に訴えてもむだであった。「世間では夫の情事を大目に見て、夫の帰りを静かに辛抱強く待つのが、妻たる者の義務だと言いますが、私にはできません。これ以上別居が長引くのはいやです」と書いて、すぐに帰ってくるように迫ったが、相変わらず、なしのつぶてであった。

夫の精神を墮落させ、夫の愛情を奪ったのは、明らかに女と仕事であった。メアリは自殺を計ったが、果たせなかった。愛情のない夫から生活費をもらうことは耐えられない屈辱であり敗北だったのである。

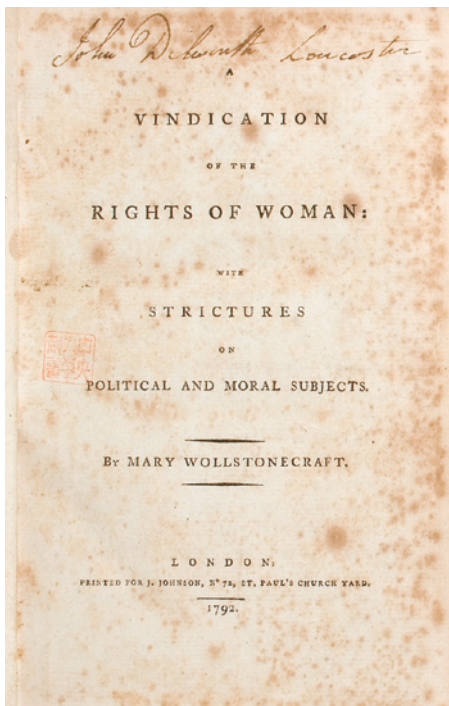
メアリは、気分転換のため、夫の代理として北欧へ旅立つことにした。夫は羽振りのよい材木商人であった。北欧の美しい自然は、すぐに彼女に心身の健康を回復させた。そして物欲の鬼にと化していた夫に、「あなたも自然に帰って、正常な体質と純粋な感情を回復して下さらないと、私たちは、お互いに心を通わせることができません」と言って、人生計画の転換を迫ったのである。

万策尽きて、夫に絶望したメアリは、いよいよ過去を清算し、子供を抱えて、自立することを断行するのである。「愛情のない保護は頂くわけにはいきません。」これがメアリの夫への最後通牒であり、独立宣言であった。

【編集部注】

本稿をご執筆いただいた岡地名誉教授は、ごく最近『メアリ・ウルストンクラフトの恋愛書簡集』の翻訳を完成され、公刊を待っているところです。

本稿はそうした意味でウルストンクラフトの波乱に富んだ37年の生涯のうち、特にイムリとの交流に絞ってご執筆いただいた次第です。



『女性の権利の擁護』初版(1792)の扉

新収資料紹介

①教職員著作目録 2008.9 - 2008.12 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	配置場所	請求記号
サン＝テグジュペリ 浅岡 夢二 (法学部) 著	星の王子さま	ゴマブックス	開架	953/Sa22
新井 潤美 (法学部) 著	へそ曲がりの大英帝国 (平凡社新書 430)	平凡社	開架 中央	平凡社新書 /430 361.6/A62
新井 潤美 (法学部) 著	自負と偏見のイギリス文化 J・オースティンの世界 (岩波新書 新赤版 1149)	岩波書店	開架 中央	岩波新書 / 新赤 -1149 930.2/A96/A62
嶺井 正也, 国祐 道広 編著 池田 賢市 (文学部) ほか 著	公教育における包摂と排除	八月書館	開架	370.4/Mi42
マリア・ヤロシュ 石川 晃弘 (名誉教授) 著	自殺の社会学 ポーランド社会の変動と病理	学文社	開架	368.3/J25
石島 博 (国際会計研究科) 著	バリュエーション・マップ 企業価値評価の科学と演習	東洋経済新報社	開架・中央	336.83/I75
松谷 泰樹, 田崎 研三 市川 泰男 (経済学部) 著	レキシコン The Economist と BusinessWeek を読む辞典	蒼穹出版	開架	D330.3/Ma91
猪口 孝 (法学部) 著	英語は道具力 (think book)	西村書店	開架	830.7/I55
ケンブリッジ現代社会国際研究所 猪口 孝 (法学部) 編著 監修	現代の世界 ヴィジュアル・データ百科	原書房	開架	M302/Ke41
上野 清貴 (商学部) 著	企業簿記の基礎	中央経済社	開架・中央	336.91/U45
岡田 裕正 今田 正 上野 清貴 (商学部) 編著 著	演習簿記テキスト Book keepng 第2版	中央経済社	開架	336.91/O38
大淵 博義 (商学部) 著	国税の常識 第11版 (知っておきたい)	税務経理協会	開架・市ヶ谷	345/O19
伊藤 眞 大村 雅彦 (法科大学院) 編 森 勇 (法科大学院) ほか	民事司法の法理と政策 小島武司先生古稀祝賀 上・下巻	商事法務	開架・中央	327.2/I89
小塩 節 (名誉教授) 著	心よ高くあがれ	青娥書房	開架	914.6/O77
西村あさひ法律事務所 西村高等法務研究所 落合 誠一 (法科大学院) 編 執筆	グローバリゼーションの中の日本法 西村利郎先生追悼論文集	商事法務	中央・市ヶ谷	320.4/N84
加藤 京二郎 (文学部) 齋藤 豊 編訳	ランボー家の方へ Arthur Rimbaud	水声社	開架	951/R44/Ka86
木田 元 (名誉教授) 著	木田元の最終講義 反哲学としての哲学 (角川ソフィア文庫 SP373)	角川学芸出版	開架	134.944/Ki12
木田 元 (名誉教授) 著	哲学は人生の役に立つのか (PHP新書 555)	PHP研究所	開架	104.9/Ki12
木田 元 (名誉教授) 著	なにもかも小林秀雄に教わった (文春新書 658)	文藝春秋	開架	文春新書 /658
戸波 江二 北村 泰三 (法科大学院) 編集	ヨーロッパ人権裁判所の判例 Essential Cases of the European Court of Human Rights	信山社出版	中央・市ヶ谷	329.21/To63
桐山 昇 (商学部) 著	東南アジア経済史 不均一発展国家群の経済結合	有斐閣	開架・中央	332.23/Ki54
ロバート・キャプラン スティーブン・アンダーソン 著 久保田敬一 (戦略経営研究科) 監修	戦略的収益費用マネジメント 新時間主導型ABCの有効利用 (マグローヒル・ビジネス・プロフェッショナル・シリーズ)	マグローヒル・ エデュケーション 日本出版貿易	開架・市ヶ谷	336.86/Ka61
松尾 弘 古積 健三郎 (法科大学院) 著	物権・担保物権法 第2版 (弘文堂 NOMIKA 2)	弘文堂	開架・中央	324.2/Ma85
島田 修一 (名誉教授) 辻 浩 編	自治体の自立と社会教育 住民と職員の学びが拓くもの	ミネルヴァ書房	開架	318/Sh36
清水 元 (法科大学院) 著	プログレッシブ民法 担保物権法	成文堂	開架・中央	324.3/Sh49
NTTドコモモバイル社会研究所 杉浦 宣彦 (戦略経営研究科) 編著	モバイルバリュー・ビジネス 電子マネー・企業ポイント・仮想通貨の見方・考え方	中央経済社	開架・中央	338/N98
ポーナルシェ 鈴木 康司 (名誉教授) 作 訳	セビーリャの理髪師 (岩波文庫 32-522-2)	岩波書店	開架 中央	岩波文庫 / 赤 -522-2 952/B31
角田 邦重 (法学部) 小西 啓文 編	内部告発と公益通報者保護法	法律文化社	開架・中央	335.15/Su58
田中 洋 (戦略経営研究科) 著	消費者行動論体系 CONSUMER BEHAVIOR: Social Psychological Approach	中央経済社	開架・中央	675.2/Ta84
都築 学 (文学部) 編	働くことの心理学 若者の自分さがしといらだち	ミネルヴァ書房	開架・中央	371.47/Ts99

著者名	書名	出版社	配置場所	請求記号
永井 和之 (法学部) 監修 木下 崇 ほか 編著	会社法の実務 企業法務解説	三協法規出版	開架・中央	325.2/Ki46
長井 圓 (法科大学院) 著	L S ノート刑事訴訟法	不磨書房	開架・市ヶ谷	327.6/N14
コルデュラ・シュトゥンプ 著 樫崎 みどり (法学部) 編訳 山内 惟介 (法学部)	変革期ドイツ私法の基盤的枠組み シュトゥンプ教授講演集 (日本比較法研究所翻訳叢書 56)	中央大学出版部	開架	324.934/St9
雨宮 眞也 (法科大学院) 編著 野村 修也	コンプライアンスのための金融取引ルールブック 第 12 版	銀行研修社	開架・中央	338.32/A44
藤本 哲也 (法学部) 著	性犯罪研究 (日本比較法研究所研究叢書 75)	中央大学出版部	開架・市ヶ谷	326.22/F62
升田 純 (法科大学院) 著	実務民事訴訟法 訴訟展開の予測と技術 第 4 版	民事法研究会	開架・中央	327.2/Ma66
升田 純 (法科大学院) 著	裁判からみた内部告発の法理と実務	青林書院	開架・中央	335.15/Ma66
丸山 英氣 (法科大学院) 編 折田 泰宏	これからのマンションと法	日本評論社	中央・市ヶ谷	365.31/Ma59
武藤 脩二 (名誉教授) 著	ヘミングウェイ『われらの時代に』読釈 断片と統一 (SEKAISHISO SEMINAR)	世界思想社	開架	930.29/H52/Mu93
高山 政信 (商学部) 著 矢内 一好	Q & A 租税条約 改訂版	財経詳報社	開架・市ヶ谷	345.1/Ta56
橋本 努 (文学部) 編 矢野 善郎	日本マックス・ウェーバー論争 「プロ倫」読解の現在	ナカニシヤ出版	開架・中央	331.5/W51/H38
山口 四郎 (名誉教授) 訳	ドイツ詩抄 珠玉の名詩一五〇撰 新版	富山房インター ナショナル	開架	941/Y24
山口 真美 (文学部) 著 金沢 創	赤ちゃんの視覚と心の発達	東京大学出版会	開架・中央	376.11/Y24
山崎 朗 (経済学部) 編著 九州経済調査協会 編	半導体クラスターのイノベーション 日中韓台の競争と連携	中央経済社	開架・中央	549.8/Y43
横田 洋三 (法科大学院) 編著 宮野 洋一 (法学部)	グローバルガバナンスと国連の将来 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 7)	中央大学出版部	開架・中央	302.1/C66
渡部 裕巨 (名誉教授) 編著 北村 敬子 (商学部)	テキスト上級簿記 第 2 版	中央経済社	開架・中央	336.91/W45

②中央大学関係資料目録 2008.9 - 2008.12 (貴重書・準貴重書指定)

著者	作品名	請求記号
磯田光一 自筆ノート	近代英詩 (Gray 以後 -)	K289/I85
磯田光一 草稿	思想の壮士への弔辞：高橋和巳の死	K210.26/I85
磯田光一 草稿	“作品”はだれのものか：石川達三「経験的小説論」、小島信夫「現代文学の進退」について	K910.26/I85
磯田光一 草稿	芸術における「悪」の位置：ロマン主義の評価をめぐって森川達也氏への反論	K914.6/I85
稲葉 修 自筆色紙	稲葉修自筆色紙	K289/I51
福田宏年 自筆色紙	福田宏年自筆色紙	K289/F74

著者	書名	請求記号
石川三四郎	辯證法的唯物史観の批判	309.301/I76
石原 八束	高野谿：句集	911.368/I74
石原 八束	秋風琴：句集	911.368/I74
石原 八束	操守：句集	911.368/I74
石原 八束	空の渚：第三句集	911.368/I74
北方 謙三	檻	913.6/Ki65
北方 謙三	眠りなき夜	913.6/Ki65
北方 謙三	友よ、静かに眠 (ねむ) れ	913.6/Ki65

著者	書名	請求記号
小杉 爲藏 (天外)	草笛	913.6/Ko89
小杉 爲藏 (天外)	はつ姿	913.6/Ko89
小杉 爲藏 (天外)	戀と戀	913.6/Ko89
小杉 天外	コブシ	913.6/Ko89
小杉 天外	蛇いちご	913.6/Ko89
志茂田景樹	黄色い牙 = Yellow fang	913.6/Sh51
杉村廣太郎	厲人厲語	914.6/Su39
杉村廣太郎	厲人厲語 [記念特製版]	914.6/Su39
鷹羽 狩行	六花：句集	911.368/Ta31
吉田 健一	英國の近代文學	930.2/Y86
吉田 健一	餘生の文學	914.6/Y86
吉田 健一	舌鼓とところどころ	914.6/Y86
吉田 健一	言葉といふもの	914.6/Y86

書簡	送付宛先	請求記号
* 磯田光一宛	磯田光一宛書簡葉書 (7 枚)	K289/I85
* 小杉 天外	伊原青々園宛封書 (10 通)	K289/Ko89
* 原 嘉道	鈴木修次宛葉書 (1 枚)	K289/H31

*：本学関係者



貴重書・準貴重書の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため事前の手続きが必要です。
詳しくは中央図書館2階カウンターに、お問い合わせ下さい。
なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。



(1) 図書館長の交代と新館長就任について

見市雅俊 文学部教授が新館長に就任致しました。任期は、2009年4月から2011年3月末までとなっています。本号に就任挨拶を掲載しています。

(2) 4月企画展示について

下記の要領で第12回中央図書館企画展示を行いますので、是非ご覧下さい。

テーマ 「メアリ・ウルストンクラフトの生誕250年を記念して」

期 間 2009年4月6日(月)～5月2日(土) 会 場 中央図書館2階(展示ケース)

(3) 全学無線 LAN アクセスポイント

昨年11月、各キャンパスに設置された全学無線LANのアクセスポイントは、中央図書館内にも3カ所設置されました。アクセスポイント付近で、利用者個人所有の無線LAN対応パソコンを利用すれば、インターネット等の接続が可能となります。利用の際は、「統合認証システム(全学無線LAN、C plusと共通)のIDとパスワード」が必要です。なお、ID及びパスワードは、大学に登録している住所に封書で一律送付しています。詳細は、中央大学情報環境整備センターのホームページをご覧ください。

・ 統合認証Menu <http://www2.chuo-u.ac.jp/c-auth/>

・ 全学無線LANの利用については <http://www2.chuo-u.ac.jp/itc/wifi/> (学内限定)

●中央図書館内の全学無線LANアクセスポイント●

① 2F南側の丸型閲覧席 ② 3F「特別閲覧室」 ③ 3F「グループ読書室」

(4) 2009 年度開閉館日程について

今年度につきましては、天井材除去工事の日程を含め学内関係部署との調整中のため、詳細について決定しておりません。確定致しましたら、図書館ホームページ、毎月配付している図書館カレンダーにてお知らせいたします。

なお、2009年度の中央図書館、理工学部分館の休日開館は、以下の日程を予定しています。

- 1) 中央図書館 (2009年) 7月12日(日)、19日(日)、26日(日) : 10時～18時
8月 8日(土)、15日(土)、22日(土) : 9時～22時
(8月は通信教育部スクーリングに伴う休日開館)
10月25日(日) : 10時～16時
(ホームカミングデー開催につき施設利用のみの開館)
(2010年) 1月17日(日)、24日(日) : 10時～18時
- 2) 理工学部分館 (2009年) 7月19日(日)、26日(日) : 10時～18時
(2010年) 1月17日(日)、24日(日) : 10時～18時

(5) 2009 年度サービス状況について

キャンパス	館・室名	場 所	開館時間		
			平日	土	日・祝
多摩キャンパス	中央図書館		9:00～22:00		△
	大学院図書室	2号館5階	9:00～20:00		閉室
	文学部専攻図書室	3号館4階～9階	9:30～17:00	9:30～12:00	閉室
	総合政策学部図書室	11号館3階	9:00～20:00	9:00～17:00	閉室
	法・商学部学生図書室	6・5号館3階	9:00～21:00		閉室
	経済学部学生図書室	7号館3階	9:00～19:00	9:00～16:00	閉室
後楽園キャンパス	理工学部分館	6号館5階～7階	9:00～21:00		△
	ビジネススクール図書室 文系大学院図書室	3号館13階	9:00～22:00 #1		日 9:00～20:00 #2 祝 10:00～18:00 #2
市ヶ谷キャンパス	市ヶ谷キャンパス図書室	4階	9:00～22:00		10:00～18:00 #2
	同 上	3階	9:00～24:00 #3		

休館日については、各館により異なりますので、詳細はホームページをご覧ください。

△: 時期により休日開館を行います。(上記(4)を参照) #1: 大学院授業期間以外は20:00まで。#2: 大学院授業期間以外は閉室。#3: 年末年始は除きます。

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから始まる新生活、楽しいことがたくさんあるかと思います。それと同時に慣れない課題やレポートに戸惑うこともあるかもしれません。そんな時はぜひ図書館に来てみてください！図書館では皆さんの学習に役立つ図書資料や、データベースなどの便利な電子ツールを豊富に取りそろえています。図書館は上手な使い方を知ると、グッと身近で便利な場所になりますよ。利用ガイドダンスや情報検索講習会なども開催していますので、ぜひ参加してみてください。

4年間は長いようであつという間です。図書館を賢く利用して勉強と遊びを両立させて、有意義な学生生活を送ってください。